

ミニディスクロージャー誌

第136期 営業のご報告

平成27年4月1日～平成28年3月31日



MINI DISCLOSURE 2016.3



CONTENTS

ごあいさつ	1
事業の概況	2
業容の推移	3
地域社会への貢献	4
中期経営計画「地域の未来を築く こうぎんの挑戦」	6
地域密着型金融の深化	7
金融再生法開示債権の状況	8
トピックス	9
連結財務諸表	10
財務諸表	12
役員・株式のご案内	14
株式の状況	15
店舗のご案内	16
店舗外現金自動設備のご案内	17

写真：仁淀川(写真提供：仁淀ブルー観光協議会)

PROFILE (平成28年3月31日現在)

名称	株式会社 高知銀行 THE BANK OF KOCHI, LTD.
本店所在地	高知市堺町2番24号
創立	昭和5年1月
預金等	9,067億円 (譲渡性預金を含む)
貸出金	6,823億円
資本金	195億44百万円
自己資本比率	10.21% (国内基準)
従業員数	902名
店舗数	72店舗 (インターネット専用支店を含む)
こうぎんグループ	株式会社 高銀ビジネス 高知市本町三丁目3番4号 オーシャンリース 株式会社 高知市知寄町一丁目4番30号 YKSちよりビル3F 株式会社 高知カード 高知市知寄町一丁目4番30号 YKSちよりビル2F ※オーシャンリース株式会社ならびに株式会社高知カードは、平成28年5月に本社を移転いたしました。

<http://www.kochi-bank.co.jp/>
E-mail: kouhou@kochi-bank.co.jp

ごあいさつ

皆さまには、日頃より高知銀行をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。
ます。

このたび、当行に対するご理解をより一層深めていただきたく、平成27年度のミニディスクロージャー誌「第136期 営業のご報告」を作成いたしました。当行の現況や活動内容をご理解いただくためのご参考になれば幸いに存じます。

当行は、平成27年4月から向こう3年間を計画期間とした中期経営計画「地域の未来を築く こうぎんの挑戦」のなかで、目指す姿として『ベスト・リージョナル・コラボレーション・バンク』を掲げ、『地域の発展のために、地域とともに最も汗を流す銀行』の実現を目指しております。役職員一人ひとりが、地域と一体化した“face to face”の取り組みを強化していくことで、基本戦略である、「地域密着型金融の深化」「財務基盤の一層の強化」「経営管理態勢の強化」および「人材力の最大発揮」に邁進してまいります。

これからも、長年にわたって築いてきた地域の皆さまとの絆をさらに深めていくとともに、地域金融機関としての金融仲介機能を発揮して、地域経済の活性化に積極的に貢献し、地域との共存共栄を図っていくよう役職員が一丸となって取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご愛顧とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



平成28年6月

取締役頭取

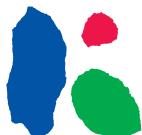
森下勝彦

経営理念

熱意 高知銀行は、限りない熱意をもって、地域の発展と暮らしの向上に貢献します。

調和 高知銀行は、調和のとれた経営をもって、お客さまの信頼に応えます。

誠実 高知銀行は、創意と誠実をもって、お客さまに奉仕します。



郷土高知を照らす太陽と、「熱意」の姿勢を赤に
穏やかにそびえる山々と、「調和」への願いを緑に
躍る黒潮と、「誠実」の精神を青にたとえて

高知銀行のシンボルマークは「ビビッドK」。
右上の赤は地域の皆さまを、
右下の緑は地元企業の皆さまを、
そして、それぞれのニーズを受け止める
高知銀行を左の青で表しています。

事業の概況～事業の経過および成果等

■ 金融経済環境

平成27年度（平成27年4月1日から平成28年3月31日）の日本経済は、政府や日本銀行の経済・金融政策の効果もあり、設備投資や雇用環境は改善が続きましたが、年度後半には新興国や資源国の景気下振れ懸念による世界経済の先行き不透明感が強まり、景気回復のペースは減速基調となりました。

当行の主要営業基盤である高知県の経済は、個人消費は一部に弱い動きがみられるものの、全体では底堅く推移しました。また、公共工事は高水準で推移したほか、雇用・所得環境は着実な改善が続くなど、足もとでは緩やかに回復しつつあります。

■ 事業の経過および成果

こうした経済環境下、当行は全役職員が一致協力して地域に密着した営業活動を展開し、業績の向上と経営体質の改善強化に努めてまいりました。

その結果、譲渡性預金を含む預金等残高は期中5億円増加して、期末残高は9,067億円（前期末比0.05%増）となりました。

一方、貸出金は地域中小企業を中心とする事業資金に積極的に取り組みました結果、期中70億円増加して、期末残高は6,823億円（前期末比1.04%増）となりました。

また、有価証券は、期中10億円減少して、期末残高は3,079億円（前期末比0.34%減）となりました。

損益面では、経常利益は前期比15億18百万円減少して33億65百万円（前期比31.08%減）、当期純利益は同8億71百万円減少して29億28百万円（前期比22.94%減）となりました。

■ 当行が対処すべき課題

日本経済は足踏み状態にあり経済の好循環実現に向けた正念場を迎えております。地域経済は底堅く足もとでは緩やかな持ち直し基調を維持しているものの、中長期的にみれば、少子高齢化の進行や人口の社会的減少による経済規模の縮小といった課題を抱えており、依然として厳しい状況が続くものと想定されます。

こうしたなか、当行は地域金融機関として金融仲介機能やコンサルティング機能を発揮し、事業性評価を重視した信用供与や

経営支援を行うとともに、お客さまのライフステージや状況等に応じたソリューション提案力を強化して、“face to face”の営業を展開することで地方創生に貢献してまいりたいと考えております。

役職員の総力を結集させ、地域と一体化し、地域発展のために最も汗を流す『ベスト・リージョナル・コラボレーション・バンク』として活動をつづけ、重要な経営課題である「収益力の強化」と「資産運用の効率化」の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

■ 利益配分に関する方針

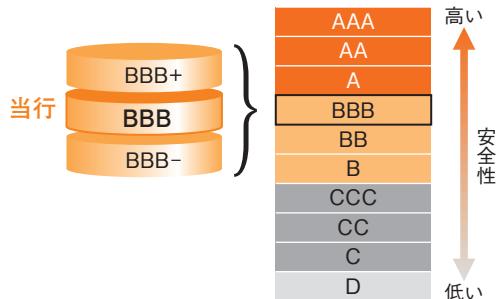
当行は、安定的な経営基盤の確保と健全な財務体質への強化を図るとともに、フローの利益とストックの内部留保に応じ、弾力的に配当金をお支払いする方針としております。

当期の期末配当は、普通株式1株につき1円50銭、第1種優先株式1株につき1円66銭8毛とさせていただきます。これにより、中間配当金を含めた当期の年間配当金は、当行普通株式1株につき2円50銭、当行第1種優先株式1株につき2円76銭8厘となります。

■ 格付

当行は、株式会社日本格付研究所（JCR）から長期優先債務格付で「BBB」（トリプルB）の格付けを取得しております。

（平成28年3月31日現在）



※格付けは、利害関係のない格付機関が企業の財務内容等を客観的に評価し、わかりやすく記号で表したものです。

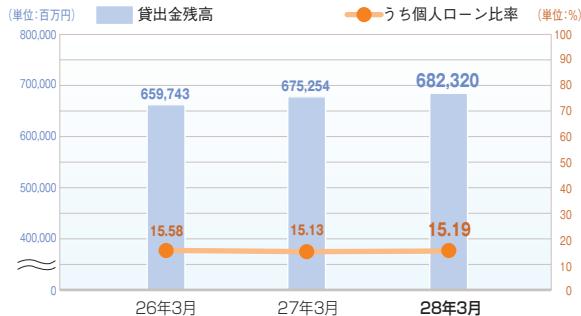
※AAからBまでの格付記号には同一等級内での相対的位置を示すものとして、プラス（+）もしくはマイナス（-）の符号による区分があります。

業容の推移

こうぎんは、地域の皆さまにとって「役に立ち信頼される銀行」を目指しています。

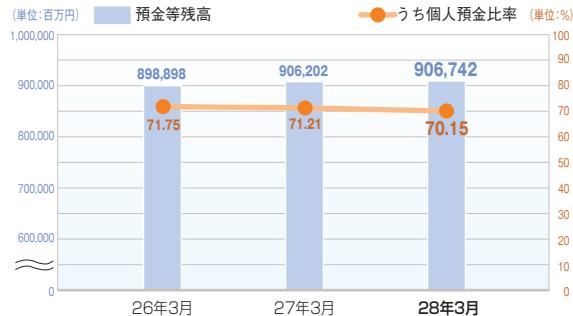
■貸出金

地域の中小企業を中心とする事業資金の需要に積極的にお応えするなど、貸出金の増強に努めた結果、貸出金残高は前期末比70億円増加して6,823億円となりました。



■預金等 (譲渡性預金含む)

地域に密着した営業活動を展開した結果、預金等の残高は前期末比5億円増加して9,067億円となりました。



■コア業務純益・経常利益・当期純利益

地域に密着した営業活動を展開し、業績の向上と経営体質改善強化に努めた結果、コア業務純益は24億67百万円、経常利益は33億65百万円、当期純利益は29億28百万円となりました。

〔コア業務純益〕

コア業務純益とは、資金の運用収支、手数料等の収支、外国為替や債券等の売買の損益等の利益から債券にかかる損益と経費を差し引いて算出される利益で「銀行の本業での業績を表す指標」といわれています。



■自己資本比率

経営の健全性の重要な指標とされる自己資本比率は、前期と同水準の10.21%となりました。



地域社会への貢献

地域金融機関である当行の使命は、地域金融の円滑化と信頼される金融商品の提供にあると考えています。

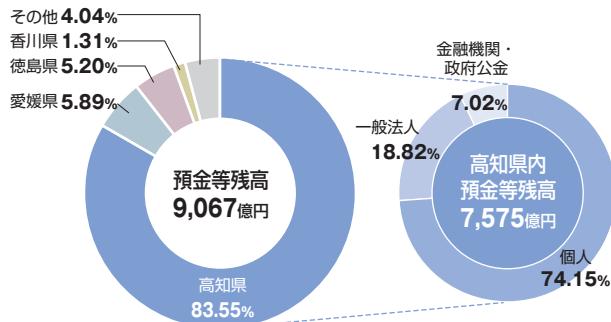
平成28年3月末の貸出金残高6,823億円のうち高知県内向け貸出金は4,607億円で、当行の貸出金全体の67.52%を占め、また、当行の貸出金の72.76%は中小企業や個人のお客さまへのご融資となっております。

預金につきましても、当行はおかげさまで地域の皆さまから高いご支持をいただいております。

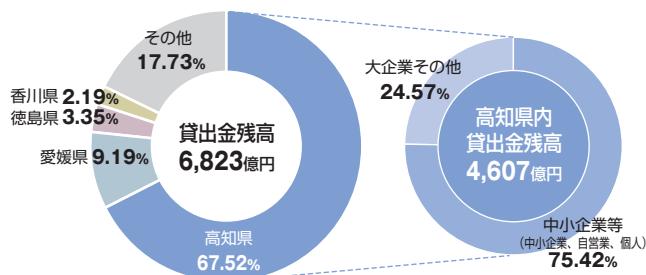
これからも、地域に根ざした金融機関として、地域社会の発展に貢献し、お客さまそれぞれのニーズにお応えできる金融機関を目指してまいります。

■ 高知県内における預金・貸出金

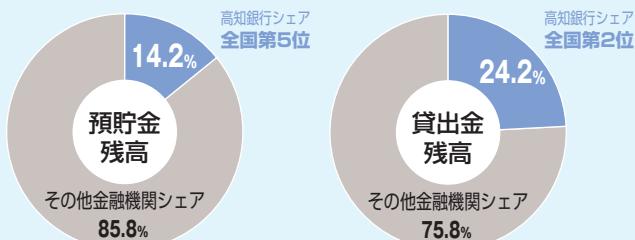
預金等の残高に占める地元預金
(平成28年3月末)



貸出金残高に占める地元貸出金
(平成28年3月末)



地元における「預貯金・貸出金」シェア (平成27年3月末)

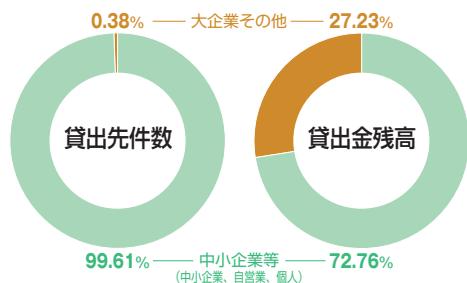


「第二地銀の地元におけるシェア」におきまして、高知銀行はおかげさまで地域の皆さまから高いご支持をいただいております。

- 高知県内の計数を対象としています。その他金融機関には、大手銀行など、地方銀行、第二地方銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、ゆうちょ銀行を含みます。
- 「月刊金融ジャーナル増刊号金融マップ2016年版」調べ

■ 中小企業等に対する貸出金

中小企業等に対する貸出金の割合
(平成28年3月末)



中小企業等に対する貸出金残高の推移



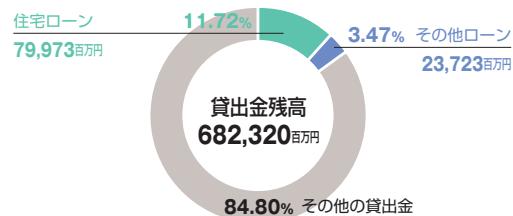
■ 信用保証協会保証付融資

高知県信用保証協会保証債務残高における当行の残高・件数推移



■ 個人向け貸出

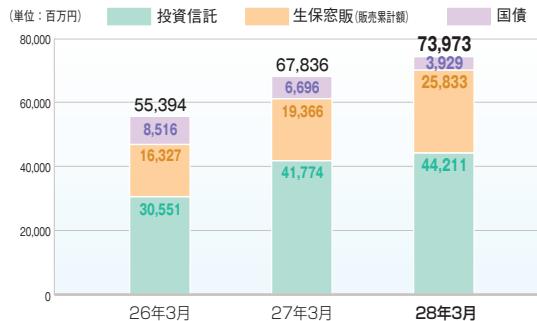
消費者ローン(住宅ローン・その他ローン)残高の貸出金に占める比率
(平成28年3月末)



■ 個人預金の推移



■ 預り資産の推移



中期経営計画「地域の未来を築く こうぎんの挑戦」

～ベスト・リージョナル・コラボレーション・バンクを目指して～

計画期間 平成27年4月～平成30年3月

経営目標

- ☆お客さまにとって・・・役に立ち信頼される銀行
- ☆株主にとって・・・健全で企業価値の高い銀行
- ☆地域社会にとって・・・使命を果たし発展に貢献する銀行
- ☆職員にとって・・・働きがいがあり夢と希望を実現できる銀行

経営基本方針

金融仲介機能を発揮して、地域経済の活性化に積極的に貢献し、地域との共存共栄を図る。

基本戦略

【地域密着型金融の深化】

コンサルティング機能を発揮し、事業性評価を重視した信用供与や経営支援を行うとともに、お客さまのライフステージや状況等に応じたソリューション提案力を強化して、地域と一体化した“face to face”の営業を徹底することで、地方創生に貢献する。

【財務基盤の一層の強化】

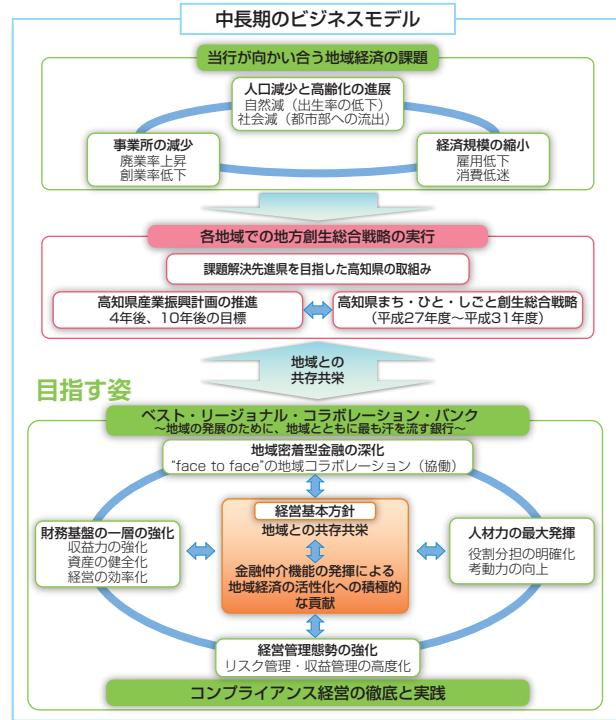
貸出金の増強を柱としてトップライン収益の増強を図るとともに、将来を見据えた経営の効率化を推進し、資産の健全化に努めていくことで、強固な財務基盤を築き上げる。

【経営管理態勢の強化】

リスク管理・収益管理の高度化により、持続性のある経営基盤を確立する。

【人材力の最大発揮】

職域内の役割分担の明確化により職員それぞれの士気を高め、一層の創意工夫による考動力（thinking & action）を発揮し、組織を活性化させる。



■主要計数目標と実績

		(単位：百万円)							
		27年3月期	27年9月期	28年3月期	28年9月期	29年3月期	29年9月期	30年3月期	
コア業務純益	計画		1,525	3,114	1,578	3,203	1,687	3,386	
	実績	3,112	1,308	2,467					
	計画対比		△217	△647					

※コア業務純益（業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券関係損益）

		(単位：%)							
		27年3月期	27年9月期	28年3月期	28年9月期	29年3月期	29年9月期	30年3月期	
業務粗利益経費率	計画		69.65	69.10	68.52	68.18	68.04	67.79	
	実績	67.96	69.02	69.07					
	計画対比		△0.63	△0.03					

※業務粗利益経費率（(経費－機械化関連費用)÷業務粗利益）

		(単位：億円)			
		27年3月期	28年3月期	29年3月期	30年3月期
当期純利益	計画		16	15	15
	実績	38	29		
	計画対比		13		

		(単位：%)			
		27年3月期	28年3月期	29年3月期	30年3月期
自己資本比率	計画		10.4%程度	10.4%程度	10.4%程度
	実績	10.21	10.21		
	計画対比		△0.19		

地域密着型金融の深化

当行は、長年にわたって築いてきた地域のお客さまとの絆をさらに深め、お客さまのニーズに応じた質の高い金融サービスを提供する「地域密着型金融」の推進に取り組んでおります。

特に、当行の主要取引先である中小企業等の皆さまに対しまして、幅広い資金供給手法を活用した信用供与の円滑化や、経営改善支援活動をより一層強化・充実していくことで、地域とともに持続的な成長を実現してまいりたいと考えております。

当行は、これからも地域経済の活性化に貢献し、「地域との共存共栄」を図ってまいります。

3つの重点課題

1. お取引先に対するコンサルティング機能の発揮

当行は地域に密着した業務展開によって築いてきた、お取引先との親密な信頼関係を維持・強化し、経営の目標や課題を共有いたします。

外部専門家や外部機関と協働して、お取引先のライフステージや事業の持続可能性等を適切かつ慎重に見極めたうえで、最適なソリューションを提供し、お取引先の主体的な実行を促します。

ソリューションの実行後においても協働して進捗管理を進めていくことで、お取引先の成長・発展・改善に向けて取り組んでまいります。

2. 地域の面的再生への積極的な参画

コンサルティング機能の発揮や目利き能力の向上に向けた人材の育成に努め、さまざまな地域情報を収集・集積しながら、地方公共団体等とも連携して地域の面的再生において積極的な役割を果たしてまいります。

3. 地域やお取引先に対する積極的な情報発信

当行の地域密着型金融に対する取組み状況や成果は、積極的に分かりやすい形で情報発信し、地域やお取引先からの信頼を高めてまいります。

平成27年度の取組み実績

項目	実績
経営改善支援の取組み（ランクアップ）	33先
経営改善計画の策定※	81先
中小企業再生支援協議会への持ち込み	7先
年金相談会の開催	14回
出張税務相談会の開催	12回

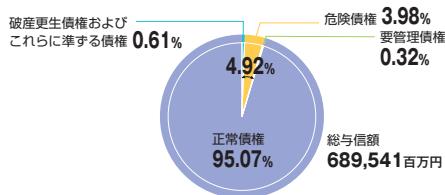
項目	実績	
ビジネスマッチングへの取組み	地方創生『食の魅力』発見商談会2015 「スーパーマーケット・トレードショー2016」 「FOODEX JAPAN2016」ほか	
創業・新事業開拓支援	114先	7,550百万円
動産・債権譲渡担保	57先	4,286百万円

※修正計画の策定支援を行った先も含んでおります。

金融再生法開示債権の状況

当行は、不良債権発生の未然防止に努めるとともに企業再生支援の取り組みを強化し、資産の健全性維持に注力しております。また、「格付・自己査定システム」を導入し、信用変化の都度査定する随時査定方式により個別に査定し、厳正に貸倒引当処理を行う一方、担保処分や貸出債権売却等の不良債権の最終処理にも努めております。

「金融再生法開示基準に基づく不良債権」の総与信額に占める割合（平成28年3月末）



金融再生法に基づく開示債権（単体）の推移

	（単位：百万円）		
	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	5,388	4,146	4,233
危険債権	31,578	29,105	27,460
要管理債権	8,088	2,835	2,272
小計	45,055	36,087	33,967
正常債権	619,189	643,970	655,574
合計	664,245	680,057	689,541
総与信残高に占める割合	6.78%	5.30%	4.92%
保全率	74.03%	80.15%	81.07%

自己査定

対象債権	
貸出金、外国為替、仮払金、支払承諾見返、金融機関保証付私募債、未収利息	
破綻先債権 (313)	
実質破綻先債権 (3,920)	
破綻懸念先債権 (27,460)	
要管理先債権 (2,814)	要 注 意 先 債 権
その他要注意先債権 (93,870)	
正常先債権 (481,910)	

金融再生法開示基準に基づく債権

対象債権		保全率
貸出金、外国為替、仮払金、支払承諾見返、金融機関保証付私募債、未収利息		
破産更生債権およびこれらに準ずる債権 (4,233)	100%	
危険債権 (27,460)	81.30%	
要管理債権 (2,272)	43.00%	
小計 (33,967)	小計 81.07%	
正常債権 (655,574)		

(注) 「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」（金融再生法）では、開示基準の対象を貸出金だけでなく、支払承諾見返や金融機関保証付私募債等を含む総与信としております（ただし、要管理債権は貸出金に限定）。また、財務内容を踏まえた債務者単位で分類しております。

リスク管理債権

対象債権	
貸出金（破綻先債権・延滞債権は未収利息不計上）	
破綻先債権 (308)	(注)
延滞債権 (31,252)	
3か月以上延滞債権 (なし)	
貸出条件緩和債権 (2,272)	
合計 (33,834)	

(注) 破綻先債権、延滞債権については、自己査定区分で破綻懸念先以下に区分した債務者に係る全貸出金を、担保保全の状況如何にかかわらず開示しております。リスク管理債権の貸出金残高に占める割合は4.95%ですが、これらの債権の81.10%を担保・保証等や貸倒引当金で保全しております。

平成28年3月末（単位：百万円）

●破産更生債権およびこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権

●危険債権

債務者が経営破綻状態にいたっていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取ができない可能性の高い債権

●要管理債権

自己査定区分による「要注意先」のうち、

「3か月以上延滞債権」および「貸出条件緩和債権」

●正常債権

債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないものとして、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外のものに区分される債権

●破綻先債権

元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本又は利息の取立て又は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出

金（貸倒償却を行った部分を除く。以下「未収利息不計上貸出金」という。）のうち、法人税法施行令（昭和40年政令第97号）第96条第1項第3号のイからホまでに掲げる事由又は同項第4号に規定する事由が生じている貸出金

●延滞債権

未収利息不計上貸出金であって、破綻先債権および債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予した貸出金以外の貸出金

●3か月以上延滞債権

元金又は利息の支払が、約定支払日の翌日を起算日として3か月以上遅延している貸出金で、破綻先債権および延滞債権に該当しない貸出金

●貸出条件緩和債権

債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で破綻先債権、延滞債権および3か月以上延滞債権に該当しない貸出金

トピックス

店舗のリニューアルならびに 相談プラザの新設

- 「一宮支店」「久万川橋支店」「大津支店」を建替えによりリニューアルオープンしたほか、「下知支店」を近隣の複合商業ビルへ移転し、名称を「ちより街支店」に変更いたしました。

こうぎんがより身近で、ご利用いただきやすくなりました。

- 各種個人ローンや金融商品等の資産運用相談窓口として、「こうぎん帯屋町プラザ」ならびに「こうぎん久万川橋プラザ」を開設いたしました。

お客さまにゆっくりとご相談いただけるよう、平日の夕方や休日にも営業しております。事前に予約いただくことも可能です。お気軽にご利用ください。



こうぎん久万川橋プラザ



高知銀行大津支店

地域経済の活性化を支援する商品等の提供

- 地域の事業者の皆さまを対象に、創業支援や新規事業展開、ベンチャー企業の育成支援等を目的とした「こうぎん地域協働ファンド」を、平成28年4月に設立いたしました。

事業者の皆さまの持つ優れた技術や、新商品、サービス等を活かした事業展開におけるさまざまな経営課題の解決をサポートいたします。

- 地域ブランドや地域産業資源を活用した事業を対象とした「こうぎん地域ブランド応援融資」を、平成28年1月より発売いたしました。

農林水産業をはじめとした地域産業資源を活用したさまざまな事業や、商標を活用した事業などをサポートいたします。

- 個人事業主のお客さまの事業資金にご利用いただける「こう

ぎんビジネス応援団」を平成27年10月に、女性の個人事業主に特化した「こうぎんはちきん応援団」を平成28年4月に、それぞれ発売いたしました。

この商品は、お申込手続きの簡便化と保証審査を迅速に行うことで、第一次産業をはじめとしたより幅広い業種のお客さまのご要望にお応えしております。詳しくはお近くの**こうぎん**にお問い合わせください。



連結財務諸表

■ 第136期末連結貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
現金預け金	43,806	預金	900,884
商品有価証券	208	譲渡性預金	5,100
金銭の信託	1,069	借入金	61,711
有価証券	307,917	外国為替	0
貸出金	680,073	その他負債	8,828
外国為替	1,464	賞与引当金	388
リース債権及びリース投資資産	6,692	退職給付に係る負債	3,473
その他資産	8,192	役員退職慰労引当金	4
有形固定資産	16,352	睡眠預金払戻損失引当金	214
建物	4,412	繰延税金負債	511
土地	10,685	再評価に係る繰延税金負債	1,770
建設仮勘定	75	負ののれん	153
その他の有形固定資産	1,178	支払承諾	1,799
無形固定資産	856	負債の部合計	984,841
ソフトウェア	471	純資産の部	
その他の無形固定資産	384	資本金	19,544
繰延税金資産	13	資本剰余金	16,712
支払承諾見返	1,799	利益剰余金	21,523
貸倒引当金	△12,739	自己株式	△157
		【株主資本合計】	57,622
		その他有価証券評価差額金	7,045
		土地再評価差額金	3,613
		退職給付に係る調整累計額	△86
		【その他の包括利益累計額合計】	10,571
		新株予約権	47
		非支配株主持分	2,621
		純資産の部合計	70,863
資産の部合計	1,055,705	負債及び純資産の部合計	1,055,705

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 第136期連結包括利益計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
当期純利益	3,105
その他の包括利益	△307
その他有価証券評価差額金	△423
土地再評価差額金	93
退職給付に係る調整額	22
包括利益	2,798
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	2,698
非支配株主に係る包括利益	99

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 第136期連結損益計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：百万円)

科 目	金 額
経常収益	25,114
資金運用収益	15,359
貸出金利息	11,557
有価証券利息配当金	3,720
コールローン利息及び買入手形利息	12
預け金利息	50
その他の受入利息	17
役務取引等収益	2,299
その他業務収益	6,774
その他経常収益	680
貸倒引当金戻入益	80
償却債権取立益	114
その他の経常収益	486
経常費用	21,507
資金調達費用	1,262
預金利息	1,148
譲渡性預金利息	5
コールマネー利息及び売入手形利息	0
借入金利息	108
役務取引等費用	1,464
その他業務費用	5,810
営業経費	12,635
その他経常費用	334
その他の経常費用	334
経常利益	3,606
特別利益	15
固定資産処分益	15
特別損失	154
固定資産処分損	136
減損損失	17
税金等調整前当期純利益	3,468
法人税、住民税及び事業税	192
法人税等調整額	170
法人税等合計	362
当期純利益	3,105
非支配株主に帰属する当期純利益	92
親会社株主に帰属する当期純利益	3,012

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 第136期連結株主資本等変動計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	19,544	16,713	18,929	△158	55,027
当期変動額					
剰余金の配当			△464		△464
親会社株主に帰属する当期純利益			3,012		3,012
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分		△0		2	1
土地再評価差額金の取崩			46		46
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	△0	2,594	1	2,594
当期末残高	19,544	16,712	21,523	△157	57,622

(単位：百万円)

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産 合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	7,475	3,565	△109	10,931	39	2,524	68,523
当期変動額							
剰余金の配当							△464
親会社株主に帰属する当期純利益							3,012
自己株式の取得							△1
自己株式の処分							1
土地再評価差額金の取崩							46
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△430	47	22	△360	8	97	△254
当期変動額合計	△430	47	22	△360	8	97	2,340
当期末残高	7,045	3,613	△86	10,571	47	2,621	70,863

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務諸表

■ 第136期末貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
現金預け金	43,121	預金	901,642
現金	13,374	当座預金	33,656
預け金	29,746	普通預金	282,163
商品有価証券	208	貯蓄預金	8,745
商品国債	208	通知預金	1,620
金銭の信託	1,069	定期預金	564,108
有価証券	307,979	定期積金	7,985
国債	103,651	その他の預金	3,362
地方債	12,865	譲渡性預金	5,100
社債	105,998	借入金	57,517
株式	13,050	借入金	57,517
その他の証券	72,413	外国為替	0
貸出金	682,320	売渡外国為替	0
割引手形	6,636	その他負債	6,706
手形貸付	37,289	未払法人税等	112
証書貸付	564,625	未払費用	1,201
当座貸越	73,768	前受収益	513
外国為替	1,464	給付補填備金	2
外国他店預け	906	金融派生商品	37
取立外国為替	557	リース債務	19
その他資産	3,157	その他の負債	4,818
前払費用	58	賞与引当金	380
未収収益	1,072	退職給付引当金	3,330
金融派生商品	448	睡眠預金払戻損失引当金	214
その他の資産	1,578	繰延税金負債	522
有形固定資産	16,255	再評価に係る繰延税金負債	1,770
建物	4,409	支払承諾	1,799
土地	10,675	負債の部合計	978,984
リース資産	18	純資産の部	
建設仮勘定	75	資本金	19,544
その他の有形固定資産	1,076	資本剰余金	16,712
無形固定資産	799	資本準備金	11,751
ソフトウェア	417	その他資本剰余金	4,961
その他の無形固定資産	382	利益剰余金	19,904
支払承諾見返	1,799	利益準備金	657
貸倒引当金	△12,508	その他利益剰余金	19,247
		圧縮記帳積立金	237
		繰越利益剰余金	19,010
		自己株式	△157
		【株主資本合計】	56,003
		その他有価証券評価差額金	7,017
		土地再評価差額金	3,613
		【評価・換算差額等合計】	10,630
		新株予約権	47
		純資産の部合計	66,682
資産の部合計	1,045,667	負債及び純資産の部合計	1,045,667

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 第136期損益計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額	金額
経常収益		18,838
資金運用収益	15,339	
貸出金利息	11,539	
有価証券利息配当金	3,718	
コールローン利息	12	
預け金利息	50	
その他の受入利息	17	
役員取引等収益	2,025	
受入為替手数料	627	
その他の役員収益	1,397	
その他業務収益	845	
商品有価証券売却益	10	
国債等債券売却益	824	
国債等債券償還益	9	
その他経常収益	628	
貸倒引当金戻入益	55	
償却債権取立益	114	
株式等売却益	226	
金銭の信託運用益	54	
その他の経常収益	177	
経常費用		15,472
資金調達費用	1,215	
預金利息	1,148	
譲渡性預金利息	5	
コールマネー利息	0	
借入金利息	61	
役員取引等費用	1,297	
支払為替手数料	109	
その他の役員費用	1,188	
その他業務費用	292	
外国為替売買損	116	
国債等債券売却損	0	
国債等債券償還損	6	
国債等債券償却	153	
金融派生商品費用	16	
営業経費	12,336	
その他経常費用	329	
貸出金償却	110	
株式等売却損	92	
株式等償却	42	
その他の経常費用	84	
経常利益		3,365
特別利益		15
固定資産処分益	15	
特別損失		153
固定資産処分損	136	
減損損失	17	
税引前当期純利益		3,227
法人税、住民税及び事業税	144	
法人税等調整額	154	
法人税等合計		299
当期純利益		2,928

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 第136期株主資本等変動計算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本									
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己株式	株主資本 合計
		資本 準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金		利益剰余金 合計		
						圧縮記帳 積立金	繰越利益 剰余金			
当期首残高	19,544	11,751	4,961	16,713	564	232	16,598	17,394	△158	53,493
当期変動額										
剰余金の配当					92		△557	△464		△464
当期純利益							2,928	2,928		2,928
自己株式の取得									△1	△1
自己株式の処分			△0	△0					2	1
実効税率変更による圧縮 記帳積立金の増加						5	△5	—		—
土地再評価差額金の取崩							46	46		46
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）										
当期変動額合計	—	—	△0	△0	92	5	2,411	2,509	1	2,510
当期末残高	19,544	11,751	4,961	16,712	657	237	19,010	19,904	△157	56,003

(単位：百万円)

	評価・換算差額等			新株予約権	純資産 合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
当期首残高	7,449	3,565	11,014	39	64,547
当期変動額					
剰余金の配当					△464
当期純利益					2,928
自己株式の取得					△1
自己株式の処分					1
実効税率変更による圧縮 記帳積立金の増加					—
土地再評価差額金の取崩					46
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△431	47	△383	8	△375
当期変動額合計	△431	47	△383	8	2,135
当期末残高	7,017	3,613	10,630	47	66,682

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

役員 (平成28年3月31日現在)

(代表取締役) 取締役頭取	もりした 森下	かつひこ 勝彦
(代表取締役) 専務取締役	うえた 植田	しげる 茂
常務取締役	おかばやし 岡林	ゆたか 豊
常務取締役	わだ 和田	ひろお 廣男
取締役	まつおか 松岡	まさのり 正憲
取締役	うみじ 海治	かつひこ 勝彦
取締役	さんのみや 三宮	まさこ 昌子
取締役	あきもと 秋元	あつし 厚志
取締役	ながひさ 永房	のぶこ 展子
常勤監査役	たていわ 立岩	こうじ 幸二
常勤監査役	いわさき 岩崎	ふみあき 文明
監査役	なかざわ 中澤	まさあき 雅昭
監査役	しいばし 椎橋	ざとし 敏

- (注) 1. 取締役秋元厚志および永房展子の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
2. 監査役立岩幸二、中澤雅昭および椎橋 敏の3氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
3. 社外取締役秋元厚志、永房展子および社外監査役立岩幸二の3氏は、金融商品取引所の定めに基づき、独立役員として届け出ております。
4. 社外取締役永房展子氏は、婚姻により、戸籍の氏を変更いたしました。が、弁護士業務を北川展子(旧氏名)で行っております。
5. 常務取締役岡林 豊氏は、平成28年3月31日をもって退任いたしました。

株式のご案内

1. 事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

2. 配当金受領株主確定日

3月31日および中間配当を行うときは9月30日といたします。

3. 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

4. 基準日

毎年3月31日の株主名簿に記載または記録された議決権を有する株主をもって、定時株主総会において権利を行使することができる株主といたします。

その他必要があるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。

5. 単元株式数

単元株式数は1,000株であります。

6. 株主名簿管理人等

- (1) 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
- (2) 株主名簿管理人 事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
- 郵便物の送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行事務センター
- 電話照会先 ☎ 0120-782-031

7. 公告方法

公告方法は、電子公告といたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞および高知市において発行する高知新聞に掲載いたします。

なお、当行ホームページアドレスは <http://www.kochi-bank.co.jp/>です。

8. 単元未満株式の買取・買増請求制度について

当行では、「買取請求制度」「買増請求制度」のご利用が可能となっております。

証券会社をご利用の株主さまは、お取引の証券会社へお申し出ください。

証券会社をご利用でない株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行へお申し出ください。

株式の状況 (平成28年3月31日現在)

普通株式

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	102,448,000株
株主数	6,682名
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
証券コード	8416

第1種優先株式

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	75,000,000株
株主数	1名

■大株主の状況 (普通株式)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,017	6.91
高知銀行持株会	4,536	4.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	3,651	3.59
四国総合信用株式会社	1,602	1.57
株式会社豊和銀行	1,474	1.45
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	1,374	1.35
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,114	1.09
株式会社近森産業	1,079	1.06
株式会社ヨンキュウ	1,074	1.05
三井住友信託銀行株式会社	1,042	1.02

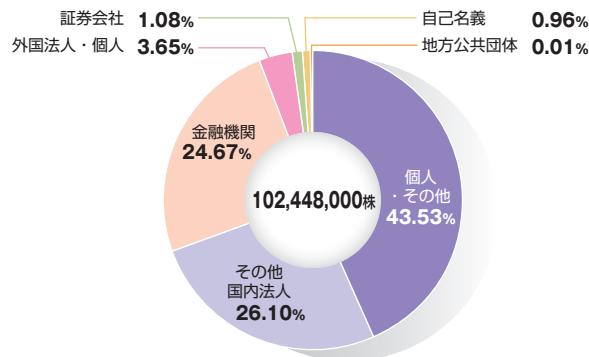
(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式(980,168株)を控除のうえ算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

■大株主の状況 (第1種優先株式)

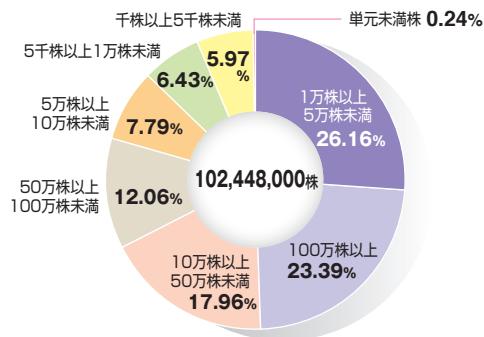
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社整理回収機構	75,000	100

株式分布状況 (普通株式)

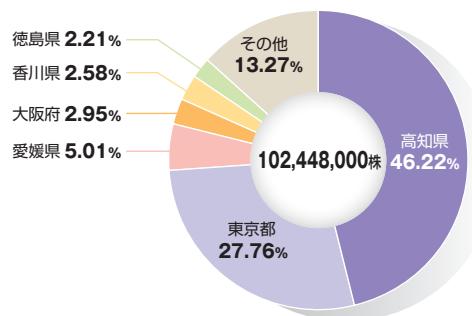
■所有者別分布



■所有株数別分布



■地域別分布



店舗のご案内 (平成28年5月31日現在)

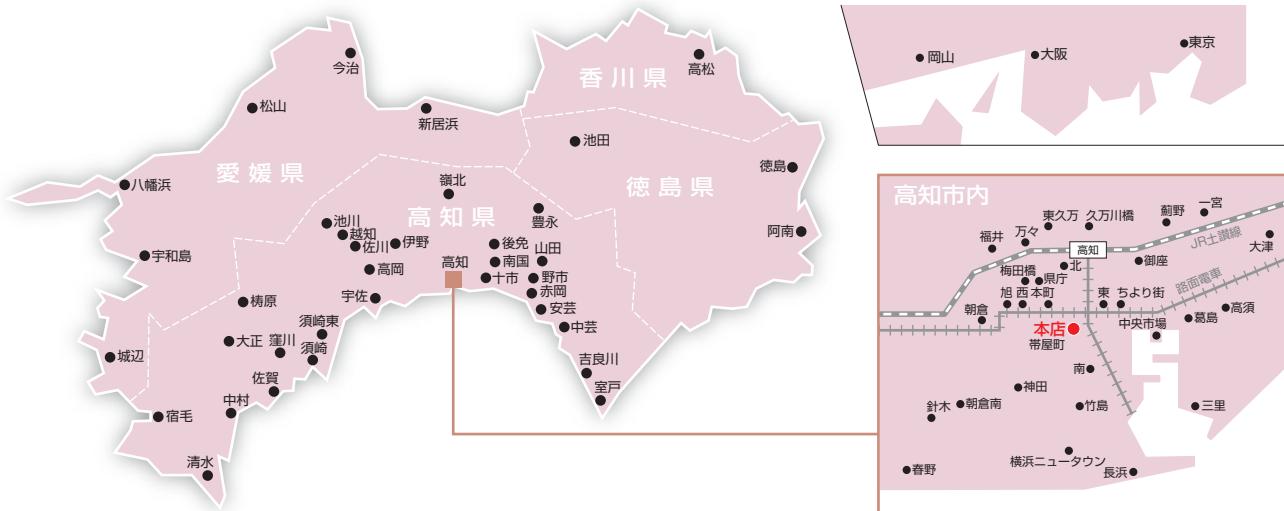
店舗数

本支店 71店舗

インターネット専用支店 1店舗

現金自動設備 (ATM) の営業日 : ●土曜日の稼働店 ●土曜日・日曜日・祝日の稼働店

※県庁支店・帯屋町支店・橘原支店・岡山支店・大阪支店・東京支店は現金自動設備を設置しておりません。



高知市 (31店舗)	
●本店営業部	088-822-9311
●東支店	088-883-4401
●西支店	088-822-8163
●南支店	088-831-5261
●北支店	088-822-5257
●本町支店	088-822-5251
※県庁支店	088-822-0118
●ちより街支店	088-882-5124
●中央市場支店	088-882-4880
●朝倉支店	088-844-2704
●長浜支店	088-842-2281
●万々支店	088-875-7201
●久万川橋支店	088-875-6251
●高須支店	088-882-8115
●一宮支店	088-845-5111
●竹島支店	088-831-7121
※帯屋町支店	088-824-6711
●旭支店	088-822-0251
●福井支店	088-825-2911
●三里支店	088-847-5341

●大津支店	088-866-4005
●薊野支店	088-845-9050
●朝倉南支店	088-844-5421
●梅田橋支店	088-824-7311
●神田支店	088-831-8220
●東久万支店	088-873-8221
●葛島支店	088-883-2511
●春野支店	088-894-2888
●御座支店	088-882-8411
●針木支店	088-840-6711
●横浜ニュータウン支店	088-842-4411

高知県東部 (12店舗)	
●室戸支店	0887-22-1520
吉良川支店	0887-25-2211
●中芸支店	0887-38-4905
●安芸支店	0887-35-3141
●赤岡支店	0887-55-3101
●野市支店	0887-56-2105
山田支店	0887-52-2171
●後免支店	088-863-2155

●南国支店	088-864-0551
●十市支店	088-865-5900
豊永支店	0887-75-0231
●嶺北支店	0887-82-0461

高知県西部 (15店舗)	
●伊野支店	088-892-1262
池川支店	0889-34-2316
●高岡支店	088-852-1131
宇佐支店	088-856-1111
●佐川支店	0889-22-1151
●越知支店	0889-26-1151
※橘原支店	0889-65-0186
●窪川支店	0880-22-1261
●大正支店	0880-27-0341
須崎支店	0889-42-2415
●須崎東支店	0889-43-1112
●佐賀支店	0880-55-2345
●中村支店	0880-34-3161
●清水支店	0880-82-0350
宿毛支店	0880-63-0770

高知県外 (13店舗)	
徳島支店	088-653-6111
阿南支店	0884-22-2704
池田支店	0883-72-1125
城辺支店	0895-72-1221
宇和島支店	0895-22-5745
八幡浜支店	0894-22-1820
松山支店	089-921-5101
今治支店	0898-32-4540
新居浜支店	0897-33-5585
高松支店	087-834-0111
※岡山支店	086-251-3301
※大阪支店	06-6531-2766
※東京支店	03-3865-1781

インターネット専用支店	
よさこいおきゃく支店	0120-098-950

店舗外現金自動設備のご案内 (平成28年5月31日現在)

現金自動設備(ATM・CD)の営業日：●土曜日の稼働店 ●土曜日・日曜日・祝日の稼働店

現金自動設備 の設置状況	本・支店	65カ所	117台
	店外	121カ所	126台
	合計	186カ所	243台

所在地	設置場所
高知市	●青柳
//	●愛宕小橋
//	●イオンモール高知
//	●潮新町
//	●ヴェスタ桜井
//	●エースワン神田店
//	●エースワン横内
//	●エーマックス一宮
//	●OKAMURA帯屋町ビル
//	●業務用食品スーパー朝倉
//	●業務用食品スーパー一宮
//	●介良
//	県庁
//	県庁西庁舎
//	●高新放送会館
//	●高知医療センター
//	●高知駅
//	●高知学園
//	●高知機械工業団地
//	●高知県警察本部庁舎
//	●高知大学
//	●高知大丸
//	●高知西病院
//	●国病機構高知病院
//	●コープかもべ
//	●コープよしだ
//	●サークルK高知インター
//	●幸町スーパー
//	●サニーマート神田
//	●サニーマート瀬戸
//	●サニーマート高須
//	●サニーマート土佐道路東
//	●サニーマート中万々
//	●サニーマート六泉寺
//	●サンシャインヴィアン
//	●サンシャインクラージュ
//	●サンシャインクレア
//	●サンシャイン高須
//	●サンシャインベルティス
//	●サンブラザ新鮮館鴨部
//	●サンブラザ塚ノ原

所在地	設置場所
高知市	●食品工業団地
//	●近森病院
//	●近森病院外来センター
//	●天神橋通り
//	●ナンコクスーパー高須
//	●ナンコクスーパー・ハイパー大津
//	●日赤病院
//	●パワーセンター
//	●ひろめ市場
//	●フジグラン葛島
//	●フジグラン高知
//	●ベスト電器朝倉
//	●ベスト電器ちより
//	●毎日屋あさくらセンター
//	●毎日屋さんばし店
//	●毎日屋土佐道路店
//	●マルナカー宮
//	●マル二十津店
//	●ローソン福井
東洋町	●野根
室戸市	●サンシャイン室戸
//	●ローソン室戸
//	●羽根
//	●室戸岬
奈半利町	●マルナカ奈半利
田野町	●サンシャイン田野
安芸市	●安芸市役所
//	●サンシャインランド
芸西村	●サンシャイン芸西
香南市	●香我美町
//	●フジグラン野市
//	●マルナカ赤岡
//	●夜須
南国市	●旭食品流通センター
//	●高知空港
//	●高知大学病院
//	●サニーアクシス南国
//	●サンシャインカルディア
//	●ナンコクスーパーバステ
//	●マルナカ南国

所在地	設置場所
香美市	●香美市役所
//	●高知工科大学
//	●西本町
//	●バリュー山田
大豊町	●大豊町役場
本山町	●本山
//	●嶺北中央病院
土佐町	●末広ショッピングセンター
いの町	●吾北
//	●サニーアクシスいの
//	●サニーマート伊野
//	●サンシャインラヴィーナ
//	●サンブラザ天王ニュータウン
土佐市	●サニーマート高岡
//	●サンシャインオリビオ
//	●土佐市民病院
//	●土佐ショッピングセンター
//	●ベイハロー
//	●マルナカ土佐
日高村	●サンシャイン日高
佐川町	●サンシャイン佐川
//	●サンブラザ佐川
越知町	●サンブラザ越知
須崎市	●フジ須崎
//	●マルナカ須崎
梶原町	●梶原町総合庁舎
四万十町	●サンシャイン四万十
黒潮町	●サンシャイン大方
四万十市	●アピアさつき
//	●サニーマート四万十
//	●四万十ショッピングガーデン
//	●フジグラン四万十
//	●フジ中村
土佐清水市	●サニーマート清水
//	●土佐清水市役所
宿毛市	●エヴィくりはら宿毛
//	●宿毛市役所
//	●幡多けんみん病院
//	●パルティ・フジ宿毛
徳島県三好市	●サンシャイン池田



THE BANK OF KOCHI, LTD.

〒780-0834 高知市堺町2番24号

TEL.088-822-9311

<http://www.kochi-bank.co.jp/>

